

科目名	文学	科目コード	10430
-----	----	-------	-------

学科名・学年	全学科・4年（プログラム1年）
担当教員	猪平 直人（一般教育科）
単位数・区分	1単位・選択
開講時期・時間数	後期，30時間【内訳：講義30，演習0，実験0，その他0】
教科書	阪倉篤義校訂，『竹取物語』，岩波書店，1970
補助教材	プリント等
参考書	各種古語辞典

【A．科目の概要と関連性】

現存最古の物語である『竹取物語』の世界を学ぶ。分担を決めて作品について調査し、発表する講読形式を併用し、主体的に文学作品を読み味わう力と感性を養う。

関連する科目：国語，文学，日本言語文化

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(A)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
古代物語の叙情性と、日本人の原初的な感性を理解する。	40%	A 1
文章を主体的に読み、読解力と、問題を発見する力を身に付ける。	40%	B 1
口頭発表の基本的な形式を身に付ける。	20%	B 2

【C．履修上の注意】

古語辞典を必ず持参すること。既成の現代語訳などに頼らず、自分で読み解く努力を積み重ねてほしい。

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

定期試験（0%）【内訳：後期中間0，後期末0】

その他の試験（30%）

レポート（30%）

その他（口頭発表と質疑応答）（40%）

【E . 授業計画・内容】

後期

週	内容	備考
1	『竹取物語』概説と発表要領の確認	発表担当決定
2	第1回発表 竹取の翁の登場とかぐや姫の誕生	
3	第2回発表 貴公子達の求婚と難題	
4	第3回発表 石つくりの皇子と仏の御石の鉢	
5	第4回発表 くらもちの皇子と蓬萊の玉の枝(1)	
6	第5回発表 くらもちの皇子と蓬萊の玉の枝(2)	
7	第6回発表 右大臣阿部のみむらじと火ねずみの皮衣	
8	第7回発表 大納言大伴の御行と龍の頸の玉(1)	
9	第8回発表 大納言大伴の御行と龍の頸の玉(2)	
10	第9回発表 中納言いそのかみのまるたりと燕の子安貝(1)	
11	第10回発表 中納言いそのかみのまるたりと燕の子安貝(2)	
12	第11回発表 帝の求婚(1)	
13	第12回発表 帝の求婚(2)	
14	第13回発表 かぐや姫の昇天	
15	第14回発表 物語の結末	